



写真・阿部高嗣「七五三、お父さんが赤い着物がいいって」

## 掃除文化の伝承

ダスキンでは、社員が講師となつて小学校の児童に教える「お掃除出前授業」と、先生向けの「お掃除セミナー」を開催しています。

三十数年前、私も小学校の教員をしていましたので、お掃除について先生方がどれほど関心を持っておられるか興味がありました。掃除セミナーに参加してみました。掃除方法や雑巾の絞り方、また効率

のよい掃除の仕方など、どの先生も真剣にノートをとっていました。「教育的には掃除によって子供の何が養われるのでしょうか」との問いかけには、「チームワーク」「綺麗な心」「助け合い」などの声が聞かれました。

ところで自分はいつ掃除の仕方を覚えたのだろうか。思い出してみると、母親から「お掃除しなさいよ」と命じられ、いやいやながらホウキで掃き、雑巾がけをした記憶がよみがえります。

読む人の  
幸せを願って  
作る

# 喜びの タネまき 新聞 no.537

掃除ひとつとっても、生活の中で親から教わり、それをまた子供に教えていく。仕事も、家庭についても何人ものひとから教えられ学んできました。自分が学んだことを伝承していくことは、心をつなげていくことです。知っていることや出来ることは自分だけのものにせず、多くの人に伝えていかなければと感じたセミナーでした。

株式会社ダスキン社長

山村輝治



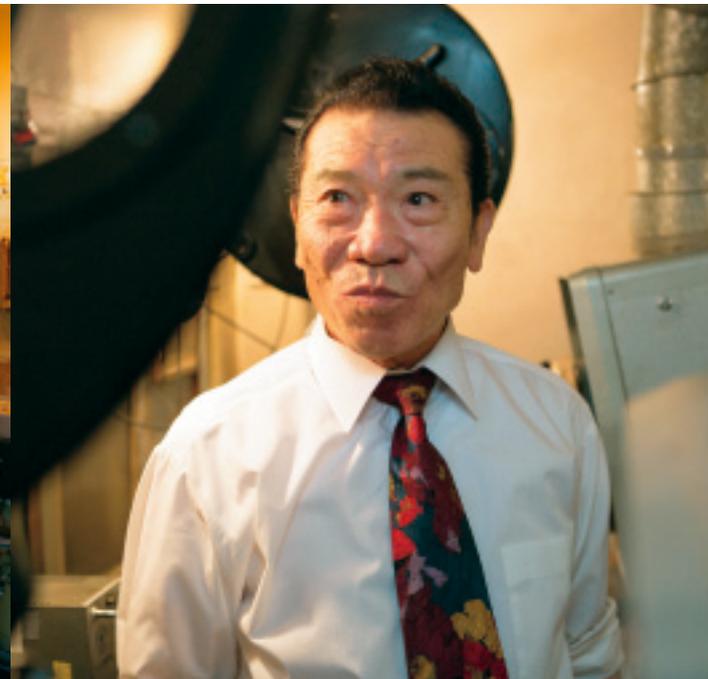
102年経っても現役の古い映画館。みんなの力で少しずつ改修されながら、映画のほか寄席なども開く。この映画館がロケ地になっただけ映画が上映され、街の人々が鑑賞するの聞いてお訪ねした。

## 小さな映画館が街を変える

# 高田世界館

新潟県上越市

「人と人をつなぐのが仕事かな。映画館にも地域にもこだわりのないのが合っているのかもしれない」と岸田さん(49歳)



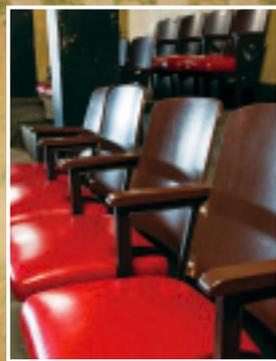
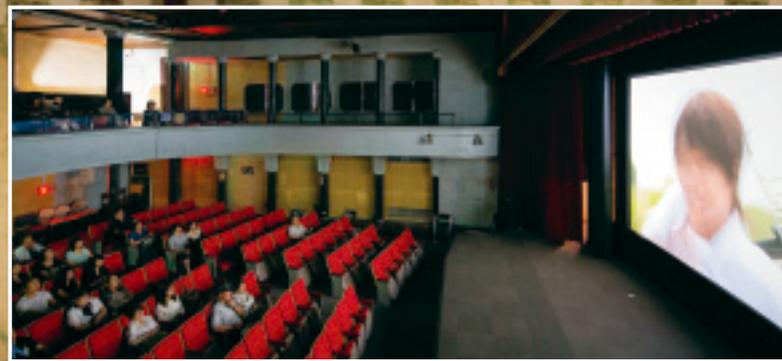
久保田さん(80歳)は映写技師一筋「そりゃ楽しいです。人生は映画とともに」



昔の映写機。もっと前のフィルムは可燃。床板にはブリキ板が貼られている。



1階席は昭和、2階席は大正時代のイス。だから2階はちよつと小さめ。



「こういう映画館、貴重だよなえ!」と、隣の直江津から来た2階席の3人。



ないのなら、自分がやろうかな」と手あげた。

「映画にも落語にも、それほど詳しくない素人。思い入れが強くないから出来るし、自分は触媒のようなもの」と謙遜するが、東京ではデザインが仕事だった関係で、映画館のパンフレットやTシャツのロゴ制作もお手のもの。

「日々、行き当たりばったりで。楽しいですよ」と、映写室で開演のプザーを押してみせた。見学に来た人は自分でプザーと押すとワクワクするそうだ。その映写室! 映画ファンなら必見の35ミリのフィルムがかかる水平点灯型2000Wで、カメラは1950年代製。あまりに昔懐かし、全国から、また、外国からも映写機を見にくる人が後を絶たない。

「アメリカ、イギリス、オーストラリアからも来る。昔のまんまだと喜んで」

映写技師の久保田定さんは、フィルム映写機を回してこの道60年以上の大ベテラン。「昭和40年頃にテレビが普及する前は凄かった。忙しいのなんの。フィルム缶を自転車で運んで、高田に7館あった映画館を回したね」

フィルムのかけ方から教える講習会で技術を継承、定期的にフィルム映画も上映する予定だ。「フィルムは懐かしい。人手のかかった映像は温かみが違う」と岸田さんはニコリしました。

「高田世界館」は明治40年開館。町に置かれた陸軍師団の娯楽施設として建てられた。当時、軍人に日本初のスキーを教えたオーストリアのレルヒ少佐も高田に来たそうで、歴史を感じる町だ。

映画館が昔のセットみたいで。「古い和洋折衷ではなく、偽洋風というんです。例えば柱は桶のように板を巻きつけ、上にモルタルを塗った円柱。日本建築です」案内してくれたのは、再生の立役者、街なか映画館再生委員会の岸田國昭さん。今は180席のイスは、背に個人名のネームプレート。一人1万円の寄付を募り、これを元に助成金を受け、イスを張り替え床を直し、さらに瓦も直した。舞台の床は廃材をもらった。一口に募金と言いが、集めるのはたいへんだらう…。

「市の建造物になるのも一案としてあった。でも指定後、補修で一度閉じると後の開館が大変。市民が使う自由度はなくなる」寄付を募った瓦には映画に出演した俳優のサインもある。アイデアをいとも簡単に連発して、実行するこの人は何者?

6年前、高田世界館の取り壊しの話が出た。理由は雨漏り。テレビの普及で映画が衰退。若い頃から同郷の落語家の寄席をここで開いてきたので、岸田さんは、いわば、高田世界館の老いる姿を見てきた人である。ちょうど地元上越市にUTAーンして仕事をしていたので、「誰もやら



地図の国

岐阜県中津川市 勝能勝

「勉強に来た」小学校4年生の外孫の倅くんがやってきた。珍しい。大雨にならなくてくれ。私は天を仰いだ。倅くんが世界地図を広げる。「じいちゃん、満州ってどこにあるんや?」「満州はな、こごや」指そうとして、手をとめた。そこに、もちろん満州の国名はない。満州は私にとっては忘れられない場所だ。私は4歳のときに引き揚げてきた。当時のことを思い出しながら、倅くんに話した。「じいちゃん、サイレンが鳴ると走りたくなつたもんや。「目散に家めがけて」「なんでや?」「それはな、怖かったからや」小学校の2年生くらいまではよく走った。「敵機襲来!」声を張りあげて。機銃掃射にもあった。怖い気持ちは残っていない。もう60年以上も前のことだ。「だんだん忘れるね」「じいちゃん、それ思い出つてやつだね」倅くんは真面目な顔で言った。少し感慨にふけり、倅くんに世界地図を返した。――平和な国をいつまでも……。



三角乗り

愛知県東海市 篠塚和彦

小学生の頃は60年以上も前で、子供用の自転車はなく買ってもらえる時代でもなかった。大人用の28インチの自転車、片方から足を斜めに入れてペダルに乗せ、傾けながら自転車のバランスをとる。危ないが昔の三角乗りが出来たとき、天にも昇る嬉しい気持ちだった。三角乗りの練習は、重い自転車を、友達と代わるがわる坂の上へ押し上げることから始まる。こがずにペダルに足だけのせて坂から下る。これが出来たらしめたもの。あとは時間の問題だ。今の子は、身長に合う自転車を買ってもらえる。地面やペダルに足が届かないことはない。きっと三角乗りも知らないだろう。でも、子供ながらに技術力がアップしたような感動は良かった。――走るときの爽快感――



タマゴを借りに

秋田県鹿角市 浅石悦子

お隣のおばあちゃんが来ました。「あら、どうしたの?」手にタマゴが1個。「さっき借りたタマゴを返しに。孫が帰って来るなり、腹へった、腹へったって」お腹が空いた様子があまりにかわいそうだったが手持ちの材料がなく、車で買い物に行く時間がかる。その間、「腹へった!」と言いつけるかと思うと、気が気でないと、母からタマゴを借りたのだそう。――わざわざ返さなくてもいいのに。うちだって、いつも世話になっているんだから――帰って行く後ろ姿を見ながら、律儀で懐かしい昭和のおばあちゃんを思った。孫におやつを作って、満足した顔を見届けてから買い物に行ったのだろう。冷蔵庫にタマゴをもどしながら、おやつは何を作ったのかなと思えました。――ちょっと幸せになった日でした。



プレゼント

愛知県豊橋市 小見門みよ子

家族の誕生日には、それぞれプレゼントを渡すことが我が家の習慣。11月の中1長女の誕生日。みんな自分のお小遣いから、娘の喜びそうな物を考え準備していた。小4の末の息子だけは、既にお小遣いを使い果たし悩んでいた。「借りましたお金でプレゼントを買っても仕方ないよ。お金がなければ知恵を出すんだね」と私。誕生日の前日、学校から戻った末っ子は直径20cmほどの折り紙で出来たマリを持っていた。「こんなの喜んでくれるかな?」と不安な表情。聞けば折り紙を持参して、放課後友達に教えてもらい自分で作ったという。大好きな外遊びを我慢して作ったマリ。決して得意でない細かい作業。ジンと胸が熱くなる。当日、娘が一番喜んだのは末っ子のマリ。彼のひたむきさが伝わったのかもしれない。――気持ちを通じる姉弟だもの。



早朝の道

大阪府枚方市 今西美奈子

私は幼い時のポリオ後遺症で足が不自由なので、近くの外出には電動車イスを使っています。先日の早朝、幅の広い歩道の端を人が歩く速度でゆっくり進んでいると、朝練に行くのでしょうか、バットが覗いているバッグを背に、小学生たちが自転車で乗り、こちらにやって来るのが見えました。それも3人。やばい!とあって、車イスを端に止めてやり過ぎそうと思った瞬間、私に気付いた少年たちが、サッと縦一列になり速度を落として過ぎました。なんと3人目の少年は自転車を降りて押しながら「おはようございます!」とあいさつ。とっさに「ありがどう!」と返した私は、その日一日爽やかな気分でした。――素敵はあいつで始まった日。



おしゃれ

鹿児島県さつま町 中園ひろ江

私の姪は小学2年生。おしゃれさんです。ある日、姪を連れて、洋服売り場へ行きました。最近の私はおしゃれとは縁遠く、眺めるだけ。でも、その日はスカートに目がまりました。「わあくかわいいけどなあ」私が呟くと、「ひーちゃんだったら似合うよ。着たらなんでもかわいいよ」と姪。私はいつもパンツスタイルなのですが、姪の言葉に背中をおされて購入。お次は、アクセサリーのお店へ。そこでも、「もっとおしゃれしたらいいよ。楽しくなるよ」とネットレスをすすめる姪。その言葉で、私は気付かれました。やっぱり、いつまでも、おしゃれでいたい。気持ちまで明るくなりました。おしゃれな姪に教えられた買い物です。――これから「ファッションはいつも一緒」。

「今日は陽だまりがあったかいの」



秋田県湯沢市 高橋温

思い切つてやつてみよ

自分の運命は、自分で賭けてみるしかありません。どうしたら楽しい人生がおくれるのでしょうか? 一人でよくよしていても解決にはなりません。思い切つて世の中にとびこんでゆくことです。

鈴木清一

愛の輪からのコラム

誰もが楽しんで料理を選べる イギリスの点字メニュー

カフェやレストランでメニューを片手に「何を食おうか…」と考える瞬間はちょっとワクワクしますね。イギリスでは、多くの店で視覚に障がいのある人に「点字を読めますか?」と点字メニューを手渡してくれます。メニューを読み上げるのではなく「どんな料理があるかな…」と点字や料理をイメージできる凹凸のついた絵や画像に触れながら選ぶ楽しみを提供する心配りで、食事の時間がより楽しく充実します。

このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。 ☎06-6821-5270 HP (http://www.ainowa.jp/) 愛の輪は日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修支援を行っています。

コウノトリ親子と楽しむ  
なるほど! **ダスキンの50年**

**ダスキンの  
クイズ大会**

(質問) ダスキンの名前の由来は何? ○をうめよ。

(正解) **ダ** **ス** **ト** **ク** **ロ** **ス** **+** **ゾ** **ウ** **キ** **ン**

**= ダスキン**



だから  
ダスキンなのね

ダスキンという  
名前はぞうきんと  
縁があるのです!

ダスキンは今年11月16日  
で創業50年。化学ぞうきん  
をお貸しする会社として、英  
語でぞうきんという意味の  
「ダストクロス」と日本語の  
「ぞうきん」を組み合わせダ  
スキンと名付けられました。  
さらに「脱皮(ダツ・スキン)  
して生まれ変わる」という想  
いも込められています。ダ  
スキンはこれからも新しく  
生まれ変わりながら、全国  
のお客様にお役立ちできる  
ことを広げていきます。

お客様の声はインターネットにて承っております。

**ダスキンお客様の声** 検索

www.duskin.jp/voice

ダスキンが大切にしたいのは、あなたの声——。  
ぜひ、あなたの想いをお聞かせください。

あなたの**声**が原点です。

私たちは、そのお声とともに歩みつづけます。

●この新聞をお届けしているのは

今号のキーワード

「ダスキン」

ハガキに書いてご応募ください!



抽選で50名様に  
「ローズバスセット」を  
プレゼント!



- 風呂・化粧室用洗剤 ローズの香り
- うるおいボディソープ ローズの香り ●リラックスアロマ入浴剤 ローズの香り(ホワイト)
- トウモロコシ繊維ボディタオル(ピンク) ●浴槽用スポンジ(ピンク)

下記の要領でご応募ください。

- ハガキに  
①今号のキーワード ②郵便番号 ③住所 ④氏名  
⑤年齢 ⑥性別 ⑦電話番号 ⑧ご利用のダスキン店名  
⑨この新聞内で好きなコーナー  
をご記入の上、下記あて先までお送りください。

●応募専用のあて先 ※郵便番号とあて先のみで届きます。  
〒163-0265 住所は不要です。

(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞no.537」プレゼント係

- 締め切り 平成25年12月27日(金)当日消印有効
- 当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。(平成26年1月下旬お届け予定)
- 応募に関してのお問い合わせ TEL:03-5909-6703
- ※抽選結果に関するお問い合わせはお受けできません。予めご了承ください。  
※ダスキン関係者の応募はご遠慮ください。

今回ご応募いただいた個人情報については、(株)ダスキンの範囲内でのみ利用させていただきます。プレゼントの抽選・発送の目的以外には使用いたしません。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞」プレゼント係 TEL:03-5909-6703 までご連絡ください。

株式会社 **ダスキン**

発行：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

編集：「喜びのタネまき新聞」編集室

〒163-0223

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル23階(私書箱47号)

TEL:03-5909-6703 FAX:03-5909-6771

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただきます場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコールセンター

**0120-100100** www.duskin.co.jp